

ボランティアは楽しい 活動報告

P734-1



ボランティア団体の活動報告があったつどい

長野 手話やマジックなど11団体

長野市のボランティア団体を市ふれあい福祉センターでつくる実行委は5日、恒例の「ボランティアのつどい」を開いた。マジックや手話、朗読など11団体がやりがいや課題を報告。約50人が参加し、オンラインでも配信した。若い世代を含む大勢に活動内容や楽しさを知ってほしいと企画。各ボランティアの活動報告は事前収録し、配信した。半世紀以上の歴史がある長野手話サークルは「新型コロナウイルス下のマスク着用で表情が読み取りにくく、コミュニケーションが取りにくい」とし、必要に応じて透明なマスクを

用いると紹介。マジック愛好家団体は「ボランティア活動は社会を明るくする」などとメッセージを寄せた。感想を述べた通信制の第一学院高校長野キャンパス3年の入井美春さん(18)は手話に興味があるとし、「さまざまな活動があり、これから参加する人にとって楽しみながらできるボランティアが見つけられそう」と話していた。